

静岡市議会
自由民主党静岡市議団
会 派 広 報

街道するが

駿河区版 No.1

発行
自由民主党
静岡市議団駿河区
広報部

静岡市議団の会派広報を
お届けします。



こんにちは！
城内 里です。

私たち自民党議員団では市議会活動を出来るだけ報告することを開始いたしました。
静岡市の各区のまちづくりに対して積極的に取り組もうというところで、今回は駿河区のメンバーで駿河区長との対談を皮切りに、何が駿河区にとって重要であるかを再確認し、今後の活動について論じ合いました。

『駿河区長と議員団で、 対談を行いました。』

駿河区の特長を活かし、区役所と支所を中心としたまちづくりへ

「駿河区区民懇話会からの提言書」では、「住みやすい駿河区」と題し、10年後の将来像を見据え、目指す基本方向を具体的に事業として推進していく必要性があると述べております。
目指す基本方向とは、「綺麗な駿河区」「安全な駿河区」「交流を大切にする駿河区」の3つであります。この3つの基本方向について各議員からの意見が出ました。
「綺麗な駿河区」では海岸線沿いや河川を綺麗にする。ごみの落ちていないまちを目指す。緑が多く、自然に親しめる綺麗なまちなどの意見。
「安全な駿河区」では交番と市民が協力し合う犯罪のないまち、津波や地震対策など災害に強いまち、夜間に歩ける歩道の充実、こどもの安全、はたまた高齢者の生活自体が心配なく安全という意見もありました。環境を守る



ることも安全なまちにつながるという意見もありました。
「交流を大切にする駿河区」では登呂遺跡の再整備に伴い、周辺住民と観光客が交流することが出来るまちや各地域の文化と産業を育てることが交流であるという意見。また、用宗駅・安倍川駅・静岡駅南口・東静岡駅を結んだイベントの開催、大学生と



の交流、などが話されました。
区長は「地域町内会との連携は、徐々に出来つつあるが、駿河区は生まれて間もないため、区内でさまざまな活動を行っている各種団体やボランティアの皆さんの存在を十分に把握できていない。駿河区の将来のためには、こうした団体のパワーが非常に必要であり、今後、区応援団として相互のネットワーク化を図る必要があるのでは」と話していました。
その他、駿河区交通アクセス改善バス試験運行についてと区役所の機能について（道路整備2課のような道路と土木関係の窓口の必要性）の意見交換をしました。

『感動・驚き・夢』

日本平動物園再整備計画は旭山動物園に負けません

いよいよ今年度（H19）から日本平動物園のリニューアルがはじまりました。本計画はH19～24年度までに総額60億6400万円で整備する予定です。今年度は展望芝生広場の整備を行っています。平成21年3月には第1弾として「猛獣館」が開館予定です。猛獣の迫力や敏捷性が間近に見ることができるようになります。園では東洋一の施設にしたいと考えています。

ライオンやトラ、ジャガー、ピューマなどのネコ科の動物が目の前まで来てくれる仕掛けを講じ、ウリはなんと言ってもホッキョクグマですが、北極圏のイメージを再現できる展示物をつくり、中では雪を降らせ、水中からも見学できるような仕掛けにします。

また、平成22年3月には新爬虫類館が完成の予定です。

第2弾の22年度末完成予定は「フライングゲージ」です。水辺を歩いて見学できるようになります。そこには、フラミンゴやペリカン、クモザル島などが存在し、ガラス越しではなくナマで生態を見ることが出来ます。第3弾は平成23年度、レッサーパンダを入口付近に設置し、りんごや笹などを目の前であげることが出来る施設にしていきます。また、子供動物園を拡大し、芝生のふれあい広場とボニーの乗

馬などを建設、かわいい動物に触れる体験をさらに内容濃くしていきます。第4弾は類人猿系（さる）の施設の改良とペンギン館の建設です。ペンギンと小さなプールを併設し、ペンギンと一緒に泳げるようなアイデアも考えています。

わが会派では、日本平動物園の特徴でもある「子供遊園地」の新遊具の取り入れやゴリラ・カバなどの人気動物の入園、リスザルとのふれあいなど一層、動物園が楽しくなるようなことを提案していきたいと思っています。また、山頂冒険館については民間の業者の活用も面白いと感じております。ポケモンのキャラクターと実際の動物との比較する看板の設置なども面白いと思います。いろいろと考えていくと楽しそうではありませんか？市民の皆様から新しい意見をお聞きしていきたいと思っています。

自民党市議団の子育て支援のコンセプトは家族がお金を余りかけずに静岡市内で休日をはたのしく過ごすこととあります。静岡市の貴重な財産である日本平動物園を大切に育てていきます。また、他市からの集客を考慮し、東名高速にある日本平パーキングエリアのスマートインター化についても挑戦していきたいと思っています。



『満観峰に抱かれた

心通い合う

品格のある街の玄関口』

安倍川駅をバリアフリー化します

長田地区の中心的な交通結節点であるJR「安倍川駅」は、昭和60年に開業し現在、一日8、600人を越す乗降客があり、駅周辺は本市の「地域拠点」として位置づけられています。

しかし、駅前広場がないこと、駅舎のバリアフリー化がされていないこと、アクセス道路が未整備であること等課題が多く、平成13年度より、タウンウォッチングやアンケート調査、勉強会等を行い、整備計画を立てて来ました。

このほど、ようやく計画案がまとまり、地権者に対し事業の説明を行いました。今後も引き続き、地権者はもとより、地域住民に対して一層の理解協力が得られるよう個別説明等、精力的に進めていきたいと考えています。

駅舎の完成は平成24年度早期を目指して、駅舎完成後順次、駅前広場、アクセス道路を整備していきます。

事業全体の完成は平成27年度の予定で、現在、平成20年度の都市計画決定に向けて、必要な事務手続きを行っているところです。

【事業概要】 ▶▶▶

■ 1 駅 舎

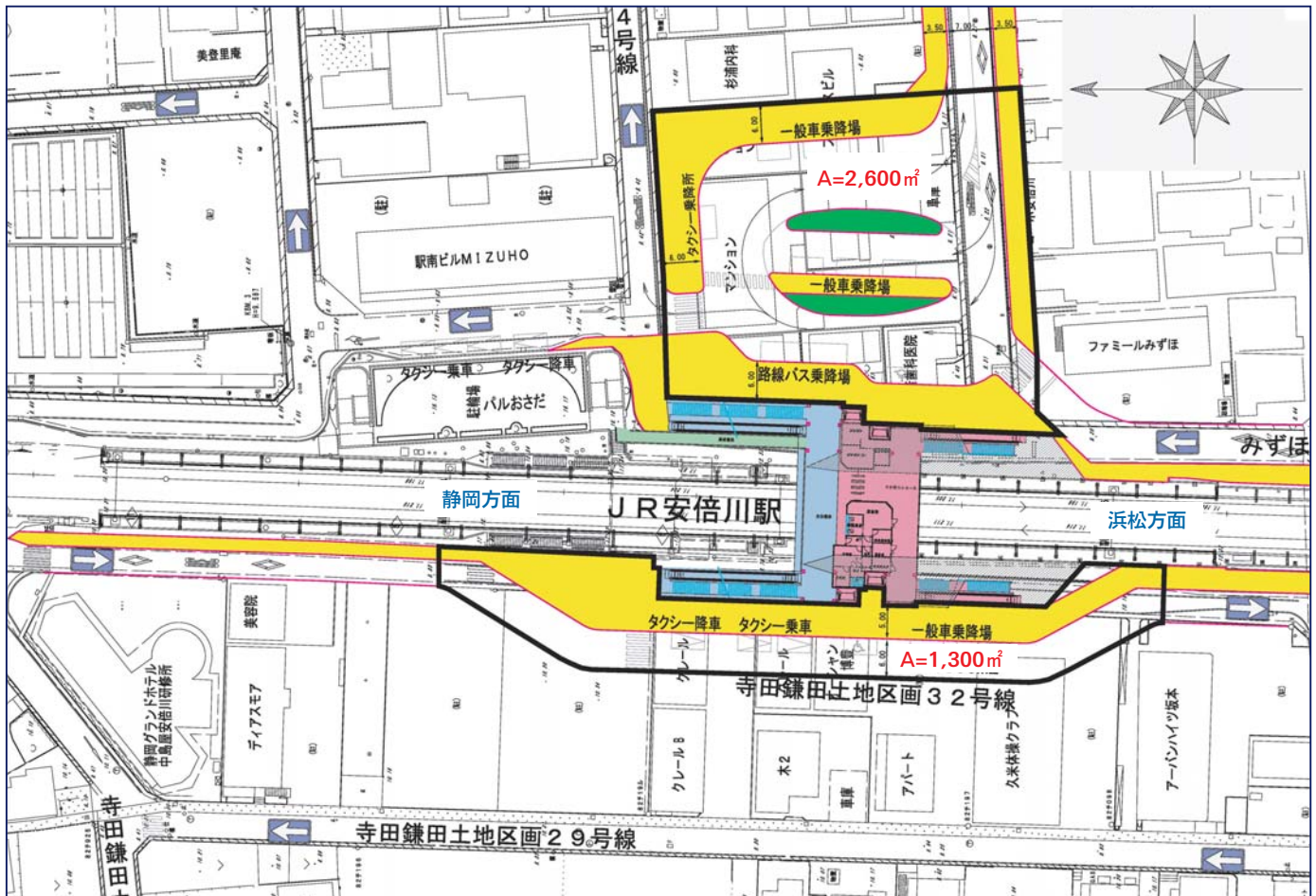
- ◆エレベーター 4 基／エスカレーター 4 基
- ◆自由通路の拡幅／W = 4 m
- ◆バリアフリートイレの設置

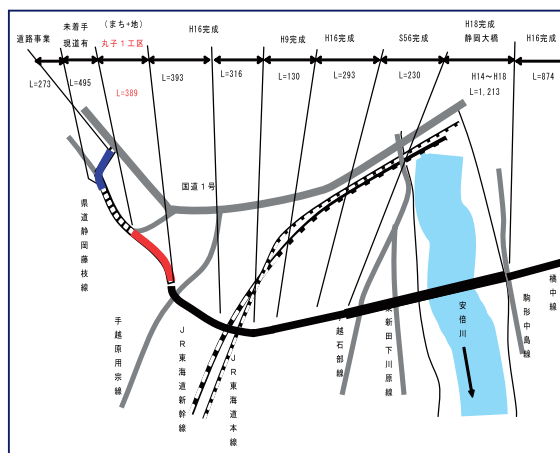
■ 2 駅前広場

- ◆みずほ側駅前広場：約2,600㎡
- ◆鎌田側駅前広場：約1,300㎡
- ◆鎌田側駐輪場整備：約1,500㎡

■ 3 道 路

- ◆みずほ側：約160m 幅員14m
- ◆鎌田側：約200m 幅員 8 m





都市計画道路丸子池田線は、国道一
号線駿河区丸子六丁目交差点を起点
として安倍川を横断し池田地内を終
点とする総延長約9kmの幹線道路で
あり、安倍川西側地域から静岡市中
心市街地への主要なアクセス道路で
あります。

平成19年3月静岡大橋の4車線化
が完成し、現在は丸子1工区(389
m)馬淵工区(769m)、八幡工区
(676m)で整備が進められています。
完了期間宣言を公表する等、重点的
整備を行い平成23年度の全線完成を
目指しております。

『丸子池田線重点整備』

都市計画道路『丸子池田線』



『長田の浸水対策事業』

平成17年度から26年度までの10カ年計画

平成17年度から26年度までの10カ年計画に
よる浸水対策が進められています。

市内の41地区を浸水常襲地区と位置づけ、重
点的に河川・下水道の排水施設の整備や、校庭
公園などに雨水貯留施設の設置に取り組んでい
ます。

駿河区では12地区を浸水常襲地区と定め、う
ち10地区において下水道雨水管渠の整備を実
施します。

これまで下川原雨水ポンプの増設(完了)や
登呂地区雨水幹線工事に着手したほか、丸子芹
が谷、寺田地区のポンプ施設・雨水管渠、広野地
区の雨水幹線、下川原6丁目等の低地区対策、
向敷地、石部地区など雨水幹線の工事着手に向
け設計を進めています。

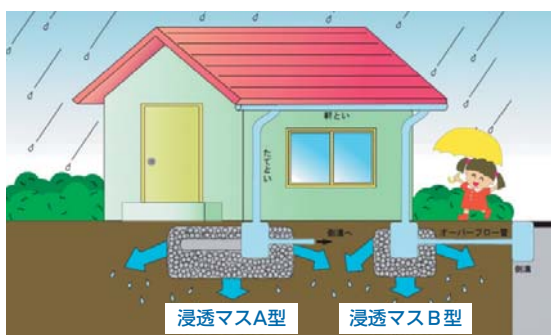
今後も、自民党市議団では「安全・安心・快適
に暮らせる自然豊かなまち」を目指し、浸水被
害の早期解消に取り組んでいきます。

都市化による建築物の過密化や地
表面の舗装などで、雨水が地下に浸
透せず短時間に多量の雨水が流出し
ます。流出量を抑制し、浸水被害の軽
減や良好な水循環を保全するため各
家庭に設置する雨水貯留浸透施設の
設置に対し助成制度を設けています。

雨天時に貯めた雨水を庭木への散
水に利用することで水資源の有効利
用にもつながり、この制度の促進が
期待されています。

【制度の概要】▶▶▶

助成額:設置費用の3分の2(限度額あり)
対象施設:浸透マス A型 57,000円
B型 28,000円
貯留タンク(200L以上) 30,000円
不用浄化槽転用タンク 100,000円



地域住民にも観光客にも活用して欲しい

『登呂遺跡再整備事業』

登呂遺跡が新しくなります。事業は平成18～23年度までで総事業費は登呂博物館も含めて、22・7億円です。今回は史跡を発掘調査に基づき、正確に復元します。集落は遺跡の北端にまとまっており、住居復元では実際に活用できる復元住居棟も含まれます。これは国からも認められた工法で不燃材で茅葺き屋根を正確に復元した特殊技術で、中で火を起こしても燃えにくく許可されました。また、発掘調査の結果により、祭殿が存在することが分かり、祭殿の復元（高さ2mで床が設置されⅡ高床式、巫女がお祈りをするような場所と想像して下さい）も行われます。

北側エントランス（今までのトイレ）を新設し、2階から屋上にあがって遺跡全体を眺めることが出来るようになります。全体を眺めながら、将来は観光ボランティアさんなどにより登呂遺跡の説明を聞くことができます。その他、南側には野外体験学習地区を新設。また、登呂遺跡周辺は地域住民が健康ウォーキングできるように歩道を整備します。

登呂博物館は今年度、解体と実施設計を行います。来年から建設して平成22年3月に完成、オープンは秋になるようです。1Fは体験コーナーを発展させ、館内だけでなく外の遺跡を活用します。2Fは展示を行い、IT機器を充実させ、映像を駆使した企画ものも構想中です。私たち自民党市議団では歴史を大切に、文化の充実を考えて静岡市を次世代に引き継いでいきたいと思っています。

利用者用整備エリア ▶▶▶

■外周園路

- ①周辺住宅地と遺構保存整備エリアとの緩衝地帯に位置付ける。盛土をし、地下遺構の保存を図りつつ、計画的に植栽を設ける（利用できる現在の植栽はそのまま利用する）。
- ②排水のよい周遊歩道を整備し、街灯と休憩場所も設け、従来の都市公園的要素を集約する。
- ③所々にビューポイントと案内板を設置し、周遊エリアから遺構保存整備エリアへの導入を促す。

■北側エントランス

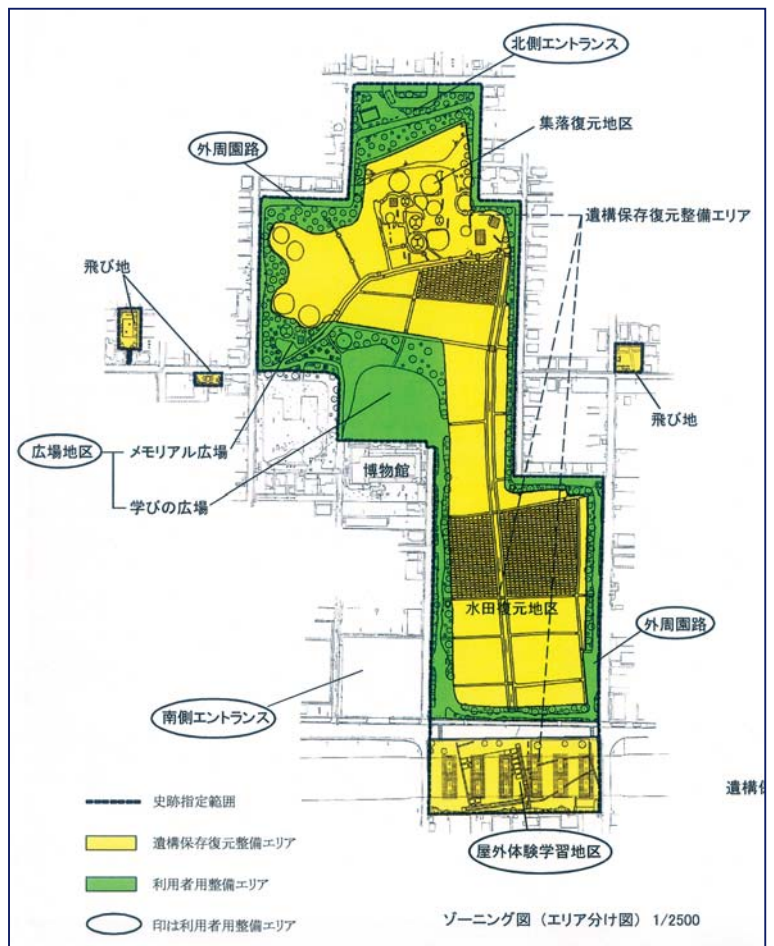
- ①路線バス・タクシー及び徒歩による来訪者のための玄関とし、自家用車の駐車場は廃止する。
- ②史跡公園の中では最も高位置であり、路線バス停・案内説明施設（バス待合・公衆トイレ併設）を整備する。
- ③集団説明場所を設ける。
- ④案内説明施設は現在のトイレ辺りに計画する。
- ⑤この案内説明施設では、壁面を使って集落と住居の構造について解説し、体験学習の受付や作業スペース・倉庫の機能も計画する。

■学びの広場・メモリアル広場

- ①戦時中の土取りにより遺構が不明となっている範囲であり、学校単位での博物館入館前の待機、ガイダンス、休憩（昼食を含む）場所及び登呂遺跡発掘整備の歴史屋外展示場所と位置付ける。
- ②ここは景観復元ではないので芝生や若干の植栽を配置し、現在の都市公園の雰囲気を残す。また、登呂遺跡に関連したイベント等で多目的に使用する。
「メモリアル広場」には、博物館前の「学びの広場」にある彫塑群や石碑群をまとめて展示し、関野克博士設計の登呂遺跡復元住居・倉庫についてもここに移築し、現在の復元案との違いや当時の調査方法等についても屋外で展示解説する。
- ③屋外説明場を建設し、雨天の来訪や日陰の設置にも配慮する（昼食も食べられる広さに）。

■体験学習エリア（他のエリアと重なる）

- ①屋外体験学習地区（東名高架下）・北側エントランス（案内説明施設）・博物館に体験学習の受付・サポート施設を配置し、集落復元地区・水田復元地区・博物館内において体験学習を展開する。
- ②講座のような形態は廃し、復元した歴史的な生活環境の中で自然に実施できるように配慮する必要がある。短期から長期まで飽きられないメニューを用意する必要がある。



駿河区に新たなバス路線が

「11月1日」から

スタートします!!

「駿河区役所交通

アクセス改善

バス試験運行計画」とは?

区役所への交通アクセスが悪い、長田地域から区役所まではJR東海の電車を活用し、静岡駅からバスで来る時間が掛かる(不便)ということがきっかけとなり、今回試験的に運行することになりました。運行に要する費用は1年間で1,800万円です。利用料金は160円〜500円で売り上げは市の税収として戻ってきます。今後、チラシやポスターで周知していきます。私たちが会派では、駿河区をエックス線上に結ぶもう一本の新たなルート(地図上の青のライン)を今後要望していきたいと考えます。それは、丸子地区から丸子池田線を通り、区役所を通り、久能地区から清水区へ通じるルートです。また、将来は小型バスの活用で、道の狭い地区についても運行できるルートを考え、要望していきます。

【時刻表】

停留所	発 車 時 刻			停留所	発 車 時 刻		
用宗駅前	9 : 30	15 : 30	東静岡駅前	9 : 30	15 : 30
駿河区役所	9 : 55	15 : 55	駿河区役所	9 : 48	15 : 48
東静岡駅前	10 : 15	16 : 15	用宗駅前	10 : 15	16 : 15

※両方向とも9:30から15:30まで1時間おきに、平日のみ1日7本運行。(年末年始運休)



- 1 用宗駅前
- 2 用宗東
- 3 用宗漁港入口
- 4 広野
- 5 下川原団地入口
- 6 マイホームセンター前
- 7 下川原五丁目
- 8 南安倍川橋
- 9 中島小学校前
- 10 西島上
- 11 西脇下
- 12 西脇
- 13 中村町下
- 14 中田本町
- 15 石田消防署前
- 16 石田
- 17 駿河区役所
- 18 ポリテクセンター静岡
- 19 市立商業前
- 20 静岡南署前
- 21 競輪場南
- 22 小鹿公民館前
- 23 小鹿北原
- 24 本覚寺入口
- 25 池田
- 26 東豊田小学校
- 27 長沼大橋南
- 28 池田橋
- 29 東静岡駅前

編集後記

現在、静岡市議会では「議会のあり方研究会」を議長の命を受けて設置、1期・2期生での議員構成により、毎月会議を開催し、熱い議論を繰り広げています。その中では活動の報告について、市民へ開かれた議会ということが最も重要であるとされており、議会がない時にはいったい議員は何をしているのか?少しでもご理解していただきたく、広報活動(市民への活動報告)を開始しているところであります。

市民の皆様は信頼され、期待される市議会であるように自民党市議団は汗をかき、地に足をつけた活動をしていきたいと考えております。皆様の前向きなご意見、ご感想をお待ちしております。

【発行責任者】

自由民主党静岡市議団広報
担当/城内
〒420-0853
静岡市葵区追手町5番1号
054-254-2111
(内線4511)
URL <http://shizujimin.web.infoseek.co.jp/>

